

しんぶん赤旗日刊紙の1面に毎日「きょうの潮流」という囲み記事が掲載されています。最近の記事を紹介いたします。

2015年11月23日(月)

きょうの潮流

きょうは小雪(しょうせつ)。秋の終わり、冬の到来を間近に感じる頃になりました。〈小雪や古りしだれたる糸桜〉(飯田蛇笏(だこつ))。寒気の影響で今週は冷え込む日が多いとか。すでに北海道では本格的な雪が降っています▼取材先に向かう途中、ぬれ落ち葉に足を滑らせ転びそうになりました。「大丈夫ですか?」。初老の女性から掛けられた言葉が、うれしい。憎しみや暴力によって人の命が奪われる殺伐とした世情に、なにげない優しさが身にしみます▼世界や社会のあり方にももの思う晩秋。休日のにぎわう新宿の街に、「あらゆる差別を許すな」の声がひびきました。人種差別や性差別、格差や貧困、社会的弱者への攻撃、そして独裁政治。人びとを分断し、互いを憎悪と恐怖の中に巻き込む差別をなくし、民主主義を守ろうと▼それぞれの思いをプラカードに掲げ、路上に出て声を上げる。3回目となった今年の「東京大行進」も大勢の市民が集まり、個人の自由や尊厳を訴えました▼親子で参加した男性は「自分であろうとすることが難しい社会。だからこそ、行動しなければならないと思って」。社会を変えるために立ち上がることは自分自身の生き方を変えることにも▼この国の民主主義が根っこから問われているいま、平和で安心して暮らせる権利を求め人びとのたたかいは、未来を切り開いていく力です。なかにはデモに共感し、隊列に加わる人の姿も。自由で平等な社会をつくるために、ともに歩こう。“ぼくらはもう一緒に生きている”

2015年11月22日(日)

きょうの潮流

組んでよし、離れてよし、巧(うま)さ、早さ、地力とも一級品。全盛期は“ちぎっては投げ”という形容がぴったりだった一。名解説で鳴らした神風正一さんが評した横綱・北の湖です▼歴代1位の横綱在位63場所、11年間に積み重ねた670の勝ち星も史上最多。しかし、この横綱には数字以上の強さがありました。たくさんの相撲ファンが「憎らしい」「ふてぶてしい」と口をそろえるほどの▼本人は何と言われようが「必死だった」。最年少21歳2カ月での横綱昇進に「果たして自分に務まるだろうか」と不安に襲われる日々。その重圧を持ち前の負けすぎらいと責任感ではねのけてきました▼攻めの相撲が身上でしたが、理事長になってからは守勢一方。新弟子暴行死、朝青龍騒動、自らの弟子の大麻事件が続いて辞任。しかし、賭博や八百長問題で角界が大揺れのなかで再登板。「みんなが頼りにしていた」(春日野親方)という厚い人望で引っ張りました▼口数は少ないものの、人の話をよく聞き、責任は自分でかぶる。何よりも信頼関係を大切にしました。現役時代、土俵に転がした相手に手を貸さなかったのも、自分がやられたら恥、失礼ではないか、との相手を思いやる信念があったから▼「どんな力士も必ずいいところがある。それを伸ばすことがいい相撲につながる」。北の湖理事長が何度も口にしてきた土俵の充実。それを示していくことが、62歳の急逝の間際まで角界の行く末を案じた大横綱の志を受け継ぐことになるはずで。

2015年11月21日(土)

きょうの潮流

山に遊びにきた3人の男の子が、もっと仲良しになろうと、それぞれに国の名前を付けて同盟しようといひだします。そして、仲間を増やして世界同盟をやろうと皆に声をかけます▼いじわるも、いばりっこもなし。対等につきあい、同じ権利で参加できる同盟です。八百屋の小僧だった三吉は「みんなと同じお友だちになれたこと」がうれしい。戦前の児童雑誌に発表された北川千代の童話「世界同盟」です▼掲載時に削られましたが、1人ずつに付けた国名に千代は「朝鮮」を登場させます。当時、石川啄木が「地図の上 朝鮮国にくろぐろと 墨をぬりつゝ 秋風を聴く」と詠んだように朝鮮は日本の植民地でした▼「啄木のさびしさに寄り添う心情と差別のない社会・国際社会を求めた『世界同盟』の理想主義との合一」。昨年亡くなった児童文学者の古田足(たる)日(ひ)さんが紹介しています。日常にある差別や偏見を見過ごさないで、との呼びかけです▼「嫌なやつ(18782)と嫌なやつ(18782)を足すと、皆殺し(37564)になる」。小学校の算数で教諭がこんな語呂合わせをしていたことが問題になっています。本人は反省していますが、及び影響への無神経さが怖い▼「君たちに憎しみという贈り物はあげない」。パリのテロで妻を亡くした仏人ジャーナリストが犯人に向けてつづったSNSが共感を広げています。幼い息子に憎しみを抱かず世界に目を見開いて生きてほしい、と。古田さんが胸に刻んでいた「平和を素手で守り得る人間をつくる」ことに通じる願いです。

この「きすな」は森本ふみお議員のブログ (<http://m.okajcp.com>) でも見れます

生活に役立ち勇気と確信のわくしんぶん[赤旗]をお読みください(月額日刊紙3,497円日曜版823円)

きずな



2015年11月26日

NO 1051

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (Tel. 62-6200)

井原市自治功労者

瀧本、坂川両氏が受賞

19日午前10時から井原市役所4階大会議室で「平成27年度 井原市自治功労者表彰式」が行われました。この度は、瀧本 博氏と坂川 俊夫氏の2名が受賞されました。

瀧本氏は「井原市社会教育委員会会長として、多年にわたり豊富な知識と経験をもって、教育の振興に尽力され、本市の発展に多大の貢献をされた。」功績で、坂川氏は「備中西商工会会長及び美星町観光協会会長として、多年にわたり豊富な知識と経験をもって、産業の振興に尽力され、本市の発展に多大の貢献をされた。」功績で受賞されました。受賞式の様子を写真でご紹介いたします。



式後記念撮影 左から瀧本市長 瀧本氏 坂川氏 上野議長

表彰状等を受理する瀧本氏



記念品等を受理する坂川氏

井原市自治功労者



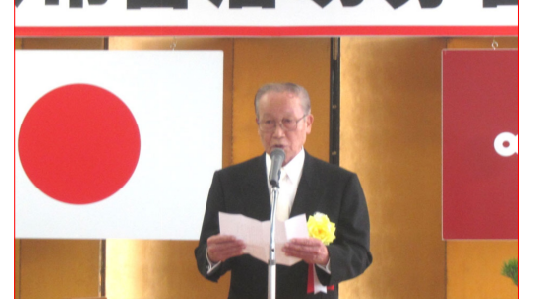
挨拶する瀧本市長

井原市自治功労者



祝辞を述べる上野議長

井原市自治功労者



受章者代表挨拶をする瀧本氏